



殿村遺跡とその時代V

一平成26年度発掘報告会・講演会一

平成27年3月21日(土)

午後1時～3時40分

会場 **ピナスホール**
(松本市役所四賀支所1階)

プログラム

一、殿村遺跡第六次発掘調査報告

松本市教育委員会文化財課 竹原 孝

二、講演会「殿村遺跡とその時代

―中世遺跡の整備・活用―

胎内市教育委員会生涯学習課 水澤 幸一氏

三、発掘速報展(会場内で写真と遺物を展示)

参加無料・申込不要



主催 松本市教育委員会

問合せ 文化財課埋蔵文化財担当 ☎0263-85-7064



中世、北越後の胎内川流域に拓かれた奥山荘。
 その中核をなす江上館をはじめとする史跡奥山荘城館遺跡の調査・研究
 と整備事業に長年携わってきた考古学者が、中世遺跡の史跡整備とは
 何かにについて語る。
 松本市内有数の中世遺跡として調査が進められる殿村遺跡の将来像は？
 奥山荘や全国の事例から、殿村遺跡の未来を考える機会とする。

講演会「殿村遺跡とその時代 —中世遺跡の整備・活用—」

【講師プロフィール】

水澤 幸一（みずさわ こういち）氏

新潟県胎内市教育委員会生涯学習課文化財係長。

1967年、滋賀県に生まれる。1991年、立正大学大学院文学研究科修了。

以後、中条町教育委員会勤務、合併を経て胎内市教育委員会。

史跡奥山荘城館遺跡の整備に携わる。

2008年、新潟大学より博士（文学）授与。2015年現在、現職。

専門は歴史考古学。土器・陶磁器、城館、石造物等から、中世社会の解明に取り組む。

著書に『奥山荘城館遺跡』（同成社2006年）、『日本海流通の考古学』（高志書院2009年）、

『仏教考古学と地域史研究』（高志書院2011年）などがある。

